

= 名寄市立風連下多寄小学校 学校だより =



教育目標

進んで学び 心豊かに たくましく生きる子ども

- ◎進んで勉強する子ども (自立)
- ◎責任を持ち最後までやりぬく子ども (責任)
- ◎なかよ助け合う子ども (友愛)
- ◎じょうぶで機敏な子ども (健康)

第 1 2 号

平成 3 1 年 3 月 2 2 日



3月～4月の帰宅時刻

午後5時まで

春休みの学習時間

新学年×10分+10分

ありがとう☆下多寄小学校

校長 井川 健



本校は開拓間もない明治35年3月、初代校長となる今川良策氏が自宅の一室に7～8名の子どもを集めて教育を始めたと聞いております。当時はぎりぎりの生活にもかかわらず、教育に力を注いだのは、人づくりこそ地域の発展に欠かせないものであるという熱い情熱があったからに他なりません。それからいくつかの変遷をたどり、現在に至るわけですが、平成最後の

年の3月で117年の歴史に幕を閉じることになりました。同窓生の皆様には、それぞれ過ごされた年代ごとでの思い出は異なることと思いますが、母校の閉校は何事にも代え難い寂しさのあふれるものであると拝察いたします。

風連下多寄小学校は開校からの精神を大切に、まさに地域と共に歩んできた学校と言えます。私自身は今年度、風連下多寄小学校校長として赴任いたしましたので、たった1年ではありますが、この間、下多寄地区・西風連地区からの学校に対する力強い応援を感じて勤めて参りました。

運動会では、多くの地域の皆様にまじって中学生、高校生が飛び入りで参加し、徒競走やリレーをすることで会場を大いに湧かせてくれました。栽培活動ではPTAの皆様にお世話になり田植えと稲刈りを行いました。収穫祭にはなよろ風連もち大使の皆さんにお越しいただいて地域の方々と共に餅つきをしました。学芸会では、117年の歴史を振り返った演劇「学校がなくなる」を演じ、多くの同窓生の皆さんに懐かしんでもいただきました。

学校行事ではありませんが、地域のお祭りに向けて、伝統文化の「風連獅子舞」と「浦安の舞」を地域の青年の方々が子どもたちに毎晩指導してくださいました。9月6日、北海道胆振東部地震の翌日に行われた風連下多寄神社のお祭りで、子どもたちは踊り手として活躍することができました。12月には、閉校実行委員会の主催で、青年団有志の方々にもお世話になり、ウインターフェスティバルが実施され、ブギウギ専務のコンサート、スノーモービル乗車会、アイスキャンドル、花火大会などで一日楽しみました。

一つ一つの行事に、そして日々の教育活動で、子どもたちが輝く瞳と笑顔で活躍することができたのも、常に保護者の皆様や地域の皆様の支えがあったからこそです。学校閉校後もどうか子どもたちに、変わらぬ温かなご指導とご支援をお願いいたします。

ドローンで記念撮影して下さった請川さん、学芸会に特別出演して下さった教育大学旭川校の皆さん、障がい者スポーツを教えてくれた名寄市社会福祉協議会の鈴木さん、世界のボードゲームを体験させてくれた岸川さん、絵本の素晴らしさを教えていただいた読み聞かせの会の皆さんなど、小さな小学校ですがたくさんの皆さんに支えていただきながら、育った児童の皆さんには、人との関わりを大切に、ふるさと下多寄を愛し、諸先輩たちのように社会に貢献できる人に育っていくように願っています。



檜山さんのクレヨン画教室

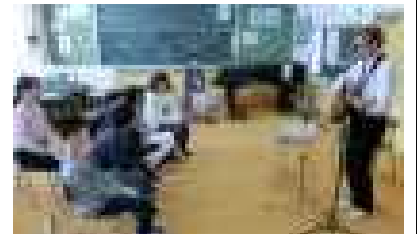
3月5日(火)と3月12日(火)の2回、西風連在住の檜山司さんに講師になっていただき、クレヨン画の技法を学びました。檜山さんは農業の傍ら昔から好きな絵を描くことを趣味にしていたそうです。最初は水彩画を中心に制作していましたが、2年前くらいからクレヨンで描く絵におもしろさを感じて作品づくりをするようになったそうです。1回目の授業では、下書きを用意していただいた作品にクレヨンで着色し、色をこすってぼかす技法を練習しました。2回目の授業では、子ども達が描いてみたい“ぬいぐるみなどの静物”や“ペットなどの写真”を持参し、それをモデルに作品づくりを行いました。一人一人に丁寧にご指導いただき、楽しい作品が出来上がりました。



オカリナとギターの鑑賞会



3月6日(水)、瑞生在住でオカリナを趣味にしている尾崎美恵さんと、風連在住でギターを趣味にしている佐々木憲一さんを招いて、音楽鑑賞会を実施しました。尾崎さんは、8年前からオカリナに本格的に取り組み、平成29年の神奈川県「第5回楽しいオカリナコンクール」ソロ部門で堂々の2位を受賞した腕前です。受賞したときの曲「小鳥のワルツ」など合計4曲の演奏を聴かせていただきました。佐々木さんは、西風連小学校を卒業しており、西風連小学校校歌など3曲を聴かせていただきました。子どもたちに、「自分は母校の校歌の継承者である。いろんな場面で演奏してみんなと一緒に楽しんでいる。皆さんには、是非、下多寄小学校の校歌の継承者になってほしい。」と語っていただきました。



最後の交流学習



2月27日(水)、風連中央小学校での最後(今年度5回目)の交流学習を行いました。交流学習の目的は、子どもたちが校舎やクラスの雰囲気、そしてクラスの友達に慣れることにあります。安心して新学期を迎える準備です。そこで、校舎内の見学や、最高学年が取り組む器楽合奏の練習、清掃活動、高学年のルールによるロープジャンプなど、できるだけ多様な場면을体験させていただきました。

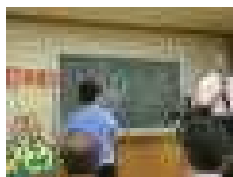


器楽合奏の練習、清掃活動、高学年のルールによるロープジャンプなど、できるだけ多様な場면을体験させていただきました。



進級を祝う会

3月15日(金)、瑞生コミュニティセンターでPTA・同窓会共催の「進級を祝う会」を行いました。中学生も



参加し、子どもたちのリクエストで1番人気だったすき焼きをおいしくいただき、「お絵かきですよ」などの余興も楽しみました。また、式次第の中では、同窓会特別入会式も実施しました。同窓会から、主に石谷さんが撮影・編集してくださったアルバムが贈呈されました。同窓会員は新田篤絆くんが最後の一人となり、総計2737人となりました。



た。同窓会員は新田篤絆くんが最後の一人となり、総計2737人となりました。

交通安全指導 ありがとうございました

PTAの皆様には、毎月始めに児童の登校時刻に合わせて、朝の交通安全指導をしていただきました。指導とともに、元気にお声かけいただき、ありがとうございました。



ある日の放課後

子どもたちの放課後の過ごし方は、本校の名物です。保護者が迎えに来るまで、体育館や、ボードゲームで遊んだり、何と勉強する児童もいます。すばらしい。



FMなよる音声収録

3月11日(火)、FMなよる(エアてっし)のスタッフの方が来校し、おうち方の出勤時に子どもから呼びかける企画「いってらっしゃい」の音声収録をしました。子どもたちは、6月にも音声収録をしても



らった事があったので、今回は緊張しないで発表ができたようでした。音声は3月14日～4月4日の間に全市放送されました。

要望書提出

2月27日(水)、閉校実行委員長今村芳彦さんから加藤市長に閉校後の校舎利用などについての要望書が提出しました。



内容は、冬期間の除雪、体育館等の町内会の利用、机・椅子・輪転機(印刷機)・ステージ発表等に必要な備品の町内会への移譲、グラウンド周辺の樹木の伐採などです。

要望書に対する市からの回答は、4月になってから下多寄町内会などに示されます。

文集作成しました

卒業記念文集を例年6年生が作成していました。今年度は、6年生がいませんが、最後の年なので代わりに全校で記念文集を作りました。編集委員である5年生が、先生方に原稿を依頼しました。

